

大阪公立大学 大阪府との連携事例

自治体の課題(ニーズ)



大阪府内には大規模な地震が発生すれば、多くの建物の火災や家屋の倒壊により甚大な被害が想定される密集市街地が数多く残っている。

大阪府都市防災課では密集市街地を抱える市と協力して、密集市街地対策として、まちの防災性の向上や、地域防災力の向上などに取り組んでいる。

この取組みの一環として、防災啓発時に災害時の様子を分かりやすく、効果的に伝えることができるようなツールを探していた。

研究成果(シーズ)の還元



研究室で開発した防災教育ARアプリは、地域の災害リスクをARにより直感的に可視化し、災害や防災の「わがごと」化につなげることができることから、防災まち歩きなどの地域防災の取組で活用し、アプリの改良を続けている。例えば、大阪府が開発したクイズ動画とARアプリを連携するカスタマイズを行い、地域での活用が容易になるようシーズを還元した。

また、これまで、大阪府をはじめとして複数の自治体にてARアプリを実践的に導入したほか、密集市街地の住民や子ども達を対象に、防災ARクイズ体験や防災イベントを実施するなど、ARアプリの実用性を高めている。これらのイベントは参加者からの満足度が高く、効果的な取り組みとなった。

この連携に携わった研究者



情報学研究科
吉田 大介 准教授

(研究者からのメッセージ)

ARアプリ(MUSUBOU-AR)は、Apple社のApp Storeで無償でダウンロードでき、アプリデータを用意することでご自分の地域で、防災ARまち歩きや防災啓発イベントに利用することができます。また、ARアプリはオープンソースとして公開していますので、防災教育に限らず、アプリを目的に応じて自由にカスタマイズすることが可能です。

※ 研究者の経歴等は(URL:https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/100000431_ja.html)をご参照下さい。